



## 若者団体によるまちづくりの取り組みに 市が最大30万円を交付します

- 若者で構成される団体から、身近なまちづくりに取り組む事業の提案を募集します。
- 審査のうえ採択された事業について市が最大30万円を交付し、若者団体と協働して取り組みます。



募集 令和8年2月9日(月)～4月24日(金)

事前相談 令和8年2月16日(月)～4月10日(金)

審査会 令和8年5月中旬

事業実施 令和8年6月上旬～令和9年3月31日(水)



## コラボポイント！

- 仙台市の担当部署が事業へのアドバイスをを行い広報面などでも協力
- まちづくりや市民活動に関するノウハウを有する「サポート団体」が伴走

## お問合せ



仙台市 市民局 市民協働推進課  
仙台市青葉区二日町1-23 アーバンネット勾当台ビル2階  
TEL：022-214-8002 (平日 9:00～17:00)  
E-mail：sim004100@city.sendai.jp

※詳細はこちら





## 提案することのできる団体

3名以上の若者（18歳～39歳以下の方※）で組織され、次の要件をすべて満たす団体

※令和8年4月1日時点の年齢

- ① 市内に活動拠点を有すること又は市内を活動地域としていること
- ② 3名以上の若者で組織されていること
- ③ 各会員の役割が明記された会員名簿を備えていること
- ④ 今後の活動計画があること
- ⑤ 宗教活動や政治活動を目的とした団体ではないこと
- ⑥ （特定非営利活動法人の場合）事業報告書等が提出されていること
- ⑦ 仙台市において市税等の滞納がないこと
- ⑧ 暴力団と関係していないこと
- ⑨ その他市長が不適切と認める団体ではないこと



## 提案することのできる事業

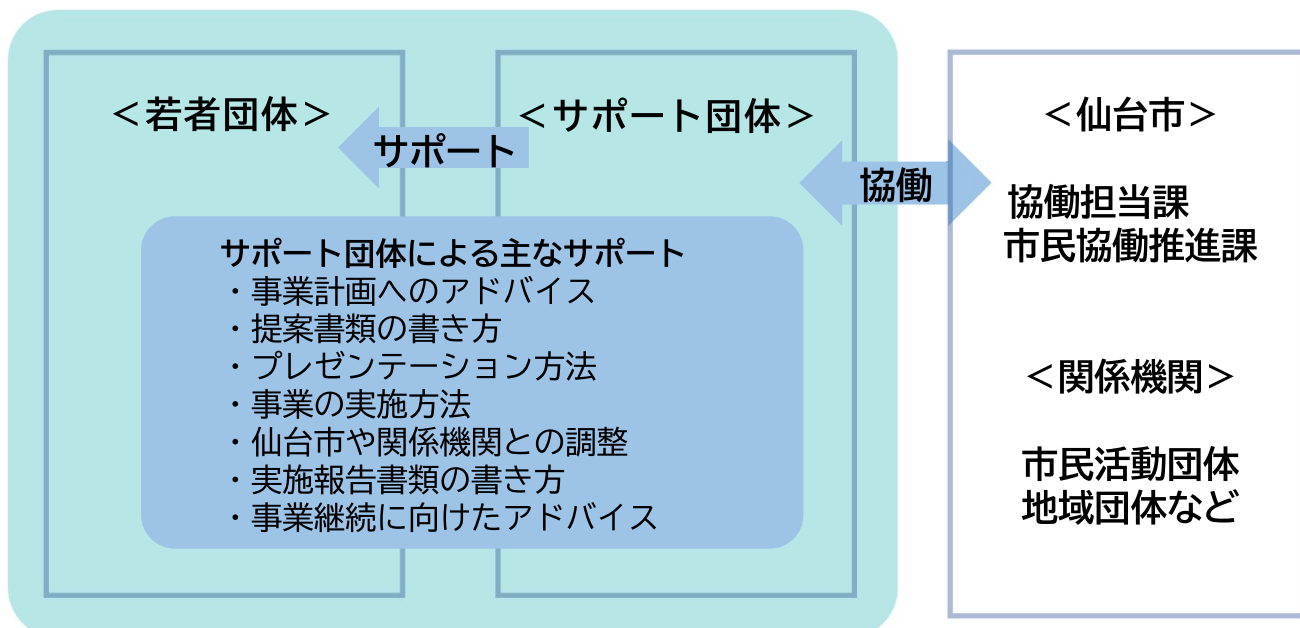
次の要件をすべて満たし、仙台市が協働で実施することができるもの※

※ただし営利を目的としたもの、仙台市の他の制度の補助を受けているもの、その他市長が不適切と認めるもの等は対象となりません。

- ・ 提案団体と市が協働で実施する必要性があり、公益的、社会貢献的なもの
- ・ 社会や市内の地域課題の解決や、魅力の向上に取り組むもの
- ・ 多様な主体と連携・協働しながら、若者自身が主体的に取り組むもの



## 事業の実施体制





## 募集内容

### (1) 自由提案型

テーマや分野は問いません。

### (2) テーマ設定型

#### 食中毒をなくそう！プロジェクト

##### 募集内容

加熱不足の鶏肉などを食べたことによる食中毒が多発しています。食中毒の被害は若者が多く、知識が不足していることが一因と考えられます。食中毒による被害を減らすため、若い世代に向けた動画等での発信を通じて、食中毒予防を分かりやすく身近に伝える取り組みを募集します。

##### 担当課からのメッセージ

専門知識がなくても大歓迎！食中毒予防のポイントは食品衛生の専門家から直接学べる機会があります。若い世代の食中毒予防という社会課題を自分たちの方法で発信してみませんか？アイデアを一緒に形にしていけたら嬉しいです。

担当課：健康福祉局 生活衛生課 ☎022-214-8205

#### #杜の都スタイルチャレンジ in 仙台

##### 募集内容

日常の中で気軽に取り組める“エコなこと”を若者の視点で見つけ、楽しく広めていく企画を募集します。“エコなこと”を実践する取り組みや、SNS発信、イベント企画など、若者の感覚でおしゃれで楽しく共感できるアイデアを待っています。

##### 担当課からのメッセージ

専門知識は不要！企画や発信は当課がしっかりサポートしますので、安心して取り組みます。あなた自身の普段の生活を“エコ”や“環境”の視点から一緒に考えて、新しい“杜の都スタイル”を形にしてみませんか？

担当課：環境局 環境共生課 ☎022-214-0007

#### 知ろう！伝えよう！ネイチャーポジティブ

##### 募集内容

「ネイチャーポジティブ（生物多様性の損失を止め回復軌道にのせること）」の考え方を、若者の視点で学び、考え、行動につなげる取り組みを募集します。ネイチャーポジティブに「どう関わり」「どう広げるか」杜の都の未来に向けたアイデアを自由にご提案ください。

##### 担当課からのメッセージ

ネイチャーポジティブの知識はないけど、若者向けの発信やイベント企画に興味あり！という応募も歓迎です。必要に応じ地域の専門家などにおつなぎします！皆さん自身が学び、興味を持っていただき、その上で「どうすれば刺さるか」を共に考えてみませんか？

担当課：環境局 環境共生課 ☎022-214-0007

※テーマに関するお問い合わせはお気軽に担当課へ



## スケジュール ※変更となる場合があります。

### (1) 事前相談 ※必須 2月16日(月)～4月10日(金)

- ・ 仙台市から制度について説明するほか、提案についての意見交換・アドバイスを行います。アイデアだけでもお気軽にご相談ください。
- ・ 希望日の4日前(土日祝日除く)までに相談予約票を記入の上、メールでお申し込みください。オンラインでも相談可能です。

※相談予約票は、ホームページからダウンロードできます。

### 令和8年度事業募集 事前説明会 ※任意 2月24日(火) 18:00～19:00

制度内容や提案方法について説明します。「自分たちの活動が対象になるか知りたい」という段階でも参加できます。

#### 場所

仙台市市民活動サポートセンター 研修室5  
(仙台市青葉区一番町四丁目1-3)



### 令和7年度事業 成果報告会 ※任意 3月10日(火) 16:00～18:30

令和7年度採択事業について実施団体が発表します。実際に行われている事業について具体的に知ることができるので、令和8年度事業に申請を考えている方におすすめです。

#### 場所

仙台市市民活動サポートセンター 地下シアター  
(仙台市青葉区一番町四丁目1-3)



### (2) 提案書類の作成・提出 4月24日(金) 必着

- ・ 事業提案には、以下の書類の提出が必要です。
  - ・ 事業提案書(第1号様式)
  - ・ 事業収支予算書(第2号様式)
  - ・ 提案する団体に関する次の書類
    - ① 会員名簿(第3号様式)
    - ② 活動内容がわかるもの(チラシ、パンフレットなど)
  - ・ 市税納付状況確認同意書(第4号様式)
  - ・ 誓約書(第5号様式)

※書類の様式は、ホームページからダウンロードできます

- ・ 必要な書類を揃えてメール、郵送又は持参で市民協働推進課まで提出してください。

### (3) 提案内容の審査 5月中旬

プレゼンテーションによる審査を行います。

※応募多数の場合、書類審査を実施することがあります。

※内容によっては、負担金の額が申請金額から減額されることがあります。

評価項目	審査の観点
ニーズの把握	・若者自らの課題意識・当事者意識によるものか ・地域や社会のニーズをとらえているものか
アイデア・先進性	・若者の視点・アイデアを生かした独創性や先進性のある取り組み内容となっているか
協働の要素	・若者が主体的に取り組む内容であるか ・他団体や行政、市民などとの連携が生まれる取り組みになっているか
事業効果	・目的に対する効果が期待できる取り組みになっているか
実現性・計画性	・具体的かつ実現可能な内容であるか ・経費の見積もりは、事業内容に見合った妥当なものであるか
持続性・発展性	・事業終了後も、継続して取り組む姿勢や体制づくりがなされているか

### (4) 事業実施 6月以降～令和9年3月31日まで

- ・ 審査の結果は6月上旬頃に通知します。
- ・ 採択となった場合は、仙台市の協働担当課と協定書を締結した後に事業開始となります。
- ・ 協定書締結後、市が負担金を交付します。

### (5) 事業報告・精算 事業終了後7日以内または令和9年3月31日まで

- ・ 事業終了後、事業の実施報告書や領収書の写し等の提出により、負担金の精算をしていただきます。
- ・ 余剰金や仙台市から交付対象として認められなかった経費については、市へ返還していただきます。

相談予約票・様式のダウンロードはこちら！







## 令和7年度実施事業例

### ①てらいく大運動会～みんなでつなGO！健康バトン～

若者団体 てらいく ～寺子屋教育～ × 協働課 健康福祉局健康政策課  
 実施概要 こどもたちが交流する機会を創出するために運動会を開催

### ②親子のハローフロスプロジェクト

若者団体 東北大学歯学部歯科医療研究会 × 協働課 健康福祉局健康政策課  
 実施概要 親子を対象に、歯周病予防に不可欠なデンタルフロスの啓発を実施

### ③ぴあミーティング

若者団体 仙台赤門短期大学まちかど保健室 × 協働課 こども若者局こども家庭保健課  
 実施内容 性や健康に関する正しい知識を獲得するため、同世代で語り合う機会を創出

### ④人流楽器によるひらかれた演奏体験と地域回遊促進

若者団体 人流楽器製作集団 × 協働課 都市整備局都心まちづくり課  
 実施内容 アプリケーション「人流楽器」「録移音機」の開発とワークショップの開催

### ⑤Sendai Re:Fashion Day

若者団体 仙台リファッションデー × 協働課 環境局家庭ごみ減量課  
 実施内容 リユース文化の浸透を目的に「服の交換会」イベントを開催

### ⑥持てる！使える！きみだけの災強バッグ～教材化プロジェクト～

若者団体 NPO法人災強のすけっと × 協働課 危機管理局減災推進課  
 実施内容 こども向け防災バッグ作成ワークショップの手順書をパッケージ化

①



④



⑥



いままでの  
事業概要は  
こちら！



若者が活躍するまちづくりSNS

Teamマチカツ！【仙台市】



Instagram



X(旧Twitter)



Facebook

